

VI. 設備投資動向

設備投資の有無

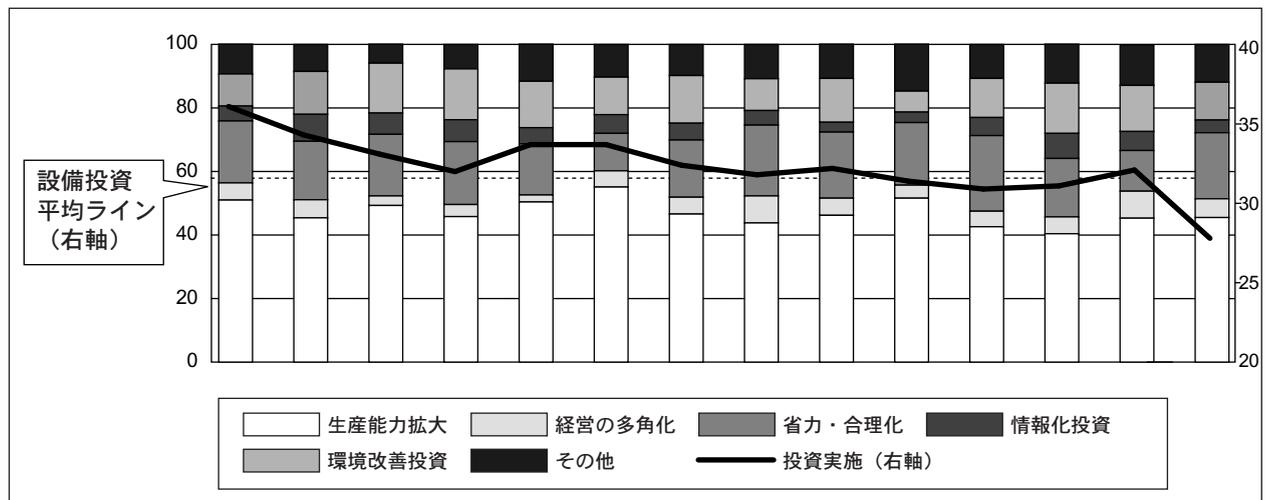
(%) 見込 予測

種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
投資実施	36.1	34.3	33.1	32.0	33.7	33.7	32.4	31.8	32.2	31.4	30.9	31.1	32.1	27.8
投資せず	63.9	65.7	66.9	68.0	66.3	66.3	67.6	68.2	67.8	68.6	69.1	68.8	67.9	72.2

設備投資の目的（実施先について）

(%)

生産能力拡大	51.0	45.4	49.3	45.8	50.4	55.1	46.6	43.8	46.2	51.6	42.6	40.4	45.3	45.5
経営の多角化	5.4	5.7	3.0	3.8	2.2	5.1	5.3	8.5	5.4	4.1	4.9	5.3	8.5	5.9
省力・合理化	19.5	18.4	19.4	19.8	16.1	11.8	18.0	22.3	20.8	19.7	23.8	18.4	12.8	20.8
情報化投資	4.7	8.5	6.7	6.9	5.1	5.9	5.3	4.6	3.1	3.3	5.7	7.9	6.0	4.0
環境改善投資	10.1	13.5	15.7	16.0	14.6	11.8	15.0	10.0	13.8	6.6	12.3	15.8	14.5	11.9
その他	9.4	8.5	6.0	7.7	11.7	10.3	9.8	10.8	10.8	14.8	10.7	12.3	12.8	11.9



- (1) 20年1～3月に設備投資を実施した企業は全産業の31.1%であり、19期連続で30%を上回った。20年1～3月期実績を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は36.3%、非製造業は26.8%となっている。

20年1～3月期に設備投資を実施した企業の投資目的は、生産・販売能力拡大が40.4%次に省力・合理化が18.4%となっている。

- (2) 20年4～6月期に設備投資を予定している企業は全体の32.1%で、30%以上が行う予定である。設備投資の目的は今期と同じ、生産能力の拡大がトップとなっている。

20年1～3月期において設備投資実施企業の割合が50%を超えたのは、電子部品製造、運輸業宿泊業となった。先行きでも、電子部品製造が設備投資を予定している企業が高い。